記者発表資料

平成２４年8月３０日
酒田河川国道事務所

９月３日(月)
平成２４年度『総合防災訓練』を実施します！

～災害時に職員が迅速かつ適切に防災業務を遂行するために～

９月１日（土）は「防災の日」です。
東北地方整備局では、東日本大震災の教訓を活かした防災訓練を実施します。
当事務所においても、その一環として管内で震度６強の地震の発生を想定し、災害時に職員が迅速かつ適切に防災業務を遂行することを目的に、『総合防災訓練』を下記のとおり実施します。
今回の訓練では自治体との連携強化を目的に酒田市と東北地方整備局間で衛星通信車を使用した情報伝達訓練を予定しております。

【総合防災訓練の概要】

○訓練日時　**平成２４年 ９月 ３日（月）９：４０～１４：００**

○訓練想定
１）地震発生時刻は、９：４０
２）震源：日本海東縁部　佐渡北方沖・秋田沖
深さ約１０㎞　地震の規模　Ｍ８．５
３）震度：山形県内全域　震度６強

○訓練箇所　酒田市役所、酒田河川国道事務所　合同対策室（２Ｆ）

○参加機関　酒田市、国土交通省酒田河川国道事務所

○主な訓練内容
１）災害対策支部設置訓練
２）管理施設点検等訓練
３）リエゾン派遣調整訓練
４）緊急復旧訓練(図上)
５）自治体支援訓練

※当日は、取材可能ですが、訓練の当日、実際に災害等が発生した場合、もしくは発生する恐れがある場合は訓練を延期または中止します。

〈発表記者会：酒田記者クラブ、鶴岡記者会、山形建設業界専門紙〉

〈問い合わせ先〉
国土交通省　東北地方整備局　酒田河川国道事務所
住所：酒田市上安町１－２－１　℡　０２３４－２７－３３３１（代表）
副所長（河川）　阿部　富雄（あべ　とみお）　内線２０４
副所長（道路）　伊藤　啓一（いとう　けいいち）内線２０５
防災課長　塚田　英之（つかだ　ひでゆき）内線２８１

【場所：酒田市役所】



酒田市役所構内
防災対策車両配置イメージ

主要地方道酒田港湾線

①対策本部車 ①

②衛星通信車 ②

R112

市役所駐車場内

酒田市庁舎

的確な現地対応

対策本部車

対策本部車の概要

対策本部車は、河川及び道路等に災害が発生したとき、又は発生の恐れがあるときに出動し、現場における指揮及び現場状況を迅速に把握し、対策を検討するための車両であり、拡幅型とバス型の2台があります。

拡幅型の特徴

- ●リアボディが拡幅構造であり、走行時は一般のトラック寸法で、拡幅時には広いスペースを確保することができます。
- ●清潔かつ汲み取りのいらない電気式燃焼トイレを装備しています。
- ●シンク付き調理台、清水タンク、汚水タンク、冷蔵庫、電磁プレート、電子レンジ、食器等の厨房設備を装備しています。
- ●会議テーブルや仮眠用の簡易ベッド（8人分）を装備しています。
- ●乾燥室兼用のシャワー室を装備しています。
- ●国土交通省移動電話（K−COSMOS）、衛星携帯電話（NTT）、移動無線装置（60・150MHz帯）、FAX、BS放送受信装置、河川情報端末等の通信情報機器を装備しています。

●仕　様（対策本部車　拡幅型）

諸　元	全長 8,650mm 全幅 2,490mm（拡幅時 5,350mm） 全高 3,560mm 車両総重量 9,630kg 乗車定員 2名 駆動方式　総輪駆動（4WD）
拡幅方式	電動及び電動油圧式
トイレ	全自動電磁誘導過熱方式
発動発電機	AC200V 50Hz 13kVA

設置条件　●アウトリガを張るため、9m×5.5mの水平なスペースが必要です。



▲設営状況（拡幅状態）



▲拡幅状態の対策本部車の室内状況



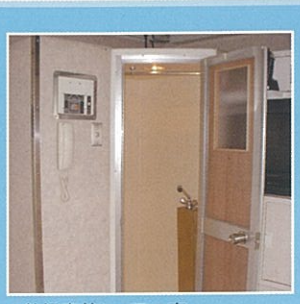
走行状態の対策本部車（拡幅）▲



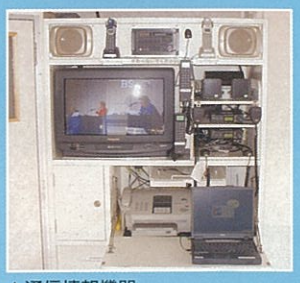
▲電気式燃焼トイレ



▲厨房設備



▲乾燥室兼シャワー室



▲通信情報機器

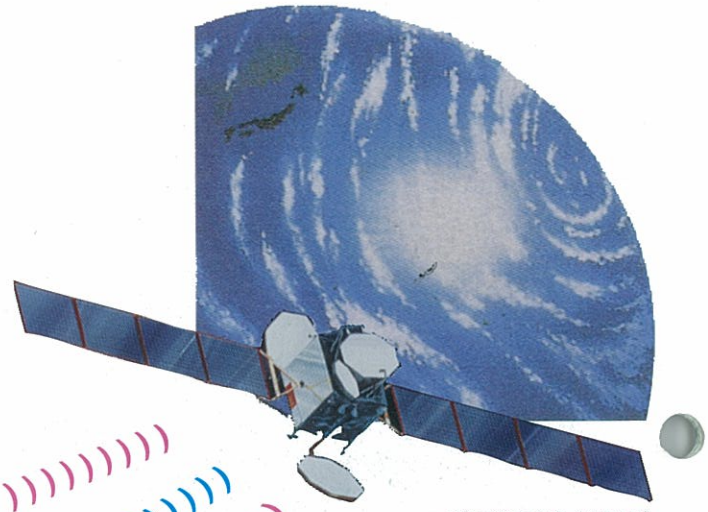
すばやい情報回線確保

衛星通信車・無線車・Ku-SAT

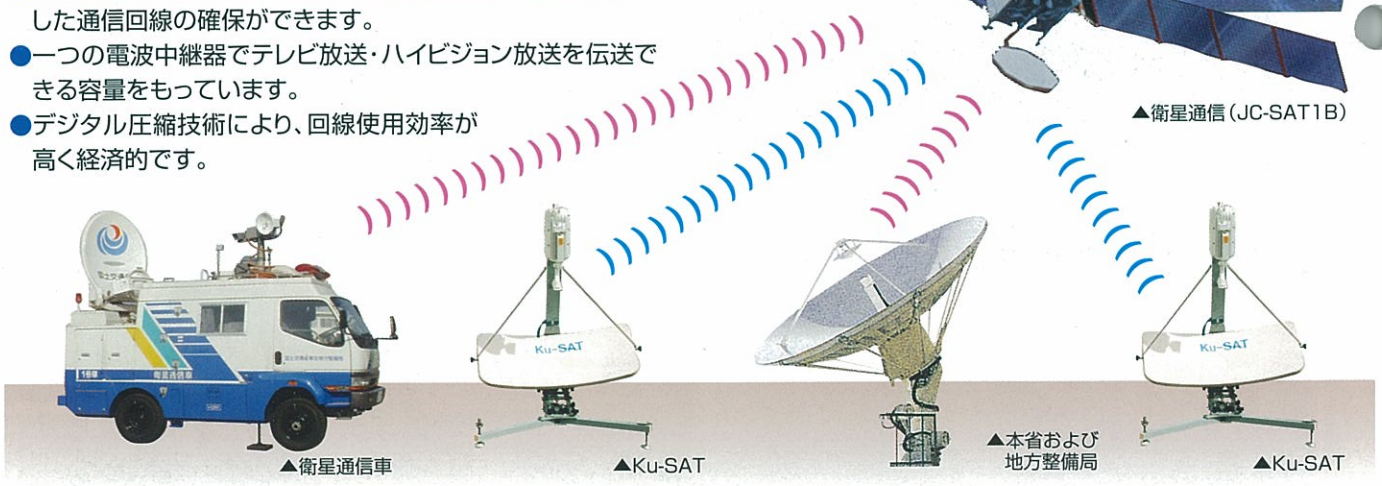
衛星通信の概要

災害時において地上回線が不通となった場合や、緊急通信・災害復旧通信等、災害現場との通信の確保が必要となったときに、通信衛星を中継し、災害現場から災害対策本部間の回線設定を行い、被災状況把握や復旧作業を円滑に行うために電話や被災地映像を配信する機能をもっており、次の特徴があります。

- ●通信衛星を使用するため、日本全国から電波の送受信が可能です。
- ●地上回線のようにケーブル敷設等の作業がないため機動的に回線設定ができます。
- ●通信衛星を使用しているため地上災害の影響を受けず安定した通信回線の確保ができます。
- ●一つの電波中継器でテレビ放送・ハイビジョン放送を伝送できる容量をもっています。
- ●デジタル圧縮技術により、回線使用効率が高く経済的です。



▲衛星通信（JC-SAT1B）



▲衛星通信車　▲Ku-SAT　▲本省および地方整備局　▲Ku-SAT

衛星通信車の特徴

- ●ベース車両は2tトラック（4WD）5人乗りで、機動性に優れています。
- ●アンテナは1.2mオフセットグレゴリアンアンテナで通信衛星の自動追尾機能を持っています。
- ●電源は車両に搭載されている発電機のほか、商用電源も受電可能です。
- ●50GHz帯無線設備を搭載し、被災現場と衛星通信車が離れていてもケーブルを敷設することなく、被災状況の画像が伝送できます。
- ●通話3CH・画像1CHが使用できます。



▲衛星通信車

●仕　様（衛星通信車）

諸　元	全長　5,080mm 全幅　2,050mm 全高　2,910mm 車両総重量　5,320kg 乗車定員　4名
利用衛星	JC−SAT1B
周波数範囲	送信14.00GHz 〜14.50GHz 受信12.25GHz 〜12.75GHz
アンテナ	自動追尾1.2mφ
伝送容量	通話路 3チャンネル 画　像 1チャンネル
発動発電機	100V 10kVA搭載
付属設備	携帯発電機100V 小型交換装置16回線 簡易画像伝送装置 FAX K−COSMOS 超短波無線電話機



▲衛星通信車（画像転送中）

設置条件

- ●南側視界約45°が見通せる場所で通信可能です。
- ●非常に強い雨などでは電波が弱くなり、通信できない場合があります。